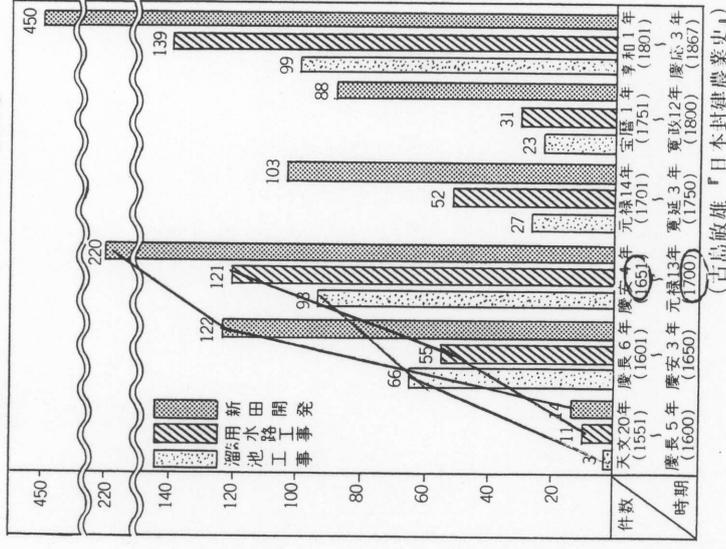


かんがい 灌漑用水工事と新田開発



○18世紀全国の耕地面積と石高の急激な上昇はなぜか？

① 全国の急激な拡大は、灌漑用水工事

② 新田開発の急増

※ 工事の多き時期

A) 1600年～1700年 (慶長～元禄) 1代家康～5代徳川

B) 1800年～1867年 (寛政～慶応)

○ 江戸時代 = 一大公共事業の時代

① 河川工事

② 治水工事

④ 城下町建設

⑤ 交通路整備

× 江戸時代 = 費用の莫大、久米邦武の「近世の農業」としての農業 (18世紀後半)

③ 新田開発 → 伊藤忠兵衛

大田登地 (新田) の成立

高工費の発生

長尾の歴史(7) ニヶ瀬用水と街道の建設

～江戸時代(1)～ 1997.9.12

① 江戸時代とはどのような時代か？

図1. ① 全国の耕地面積の拡大 (大石慎三郎「江戸時代」)

年	万町歩(指数)
930年 平安中期	86
1450年 室町中期	95
1600年 江戸直前	164
1720年 江戸中期	297
1874年 明治初期	305

図2. ② 全国の石高の増加 (『米の語る日本の歴史』)

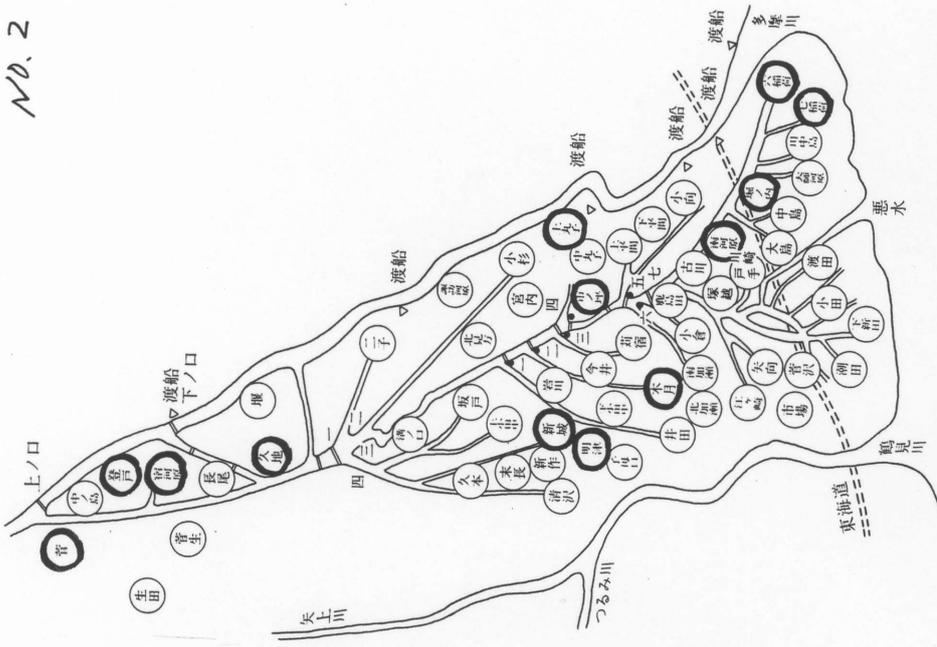
時期	万石
平安初期のころ	700
太閤検地16世紀末	1850
江戸中期元禄期18C初	2600
天保の改革前1829年	3056

○ 上の2つの資料から何がわかるか？

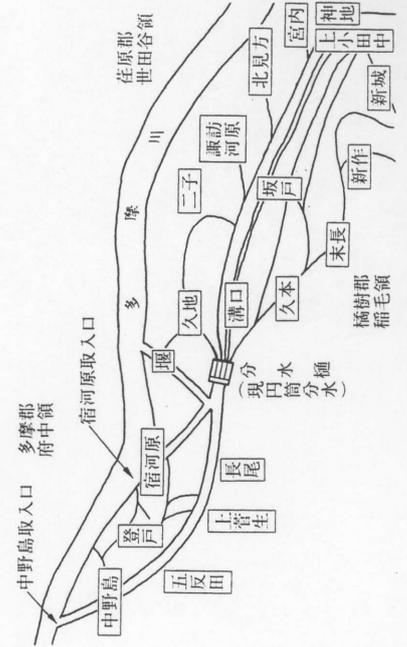
① 江戸時代300年間に、全国の耕地面積は → 約 1.86 倍

・ 全国、石高は → 約 1.65 倍

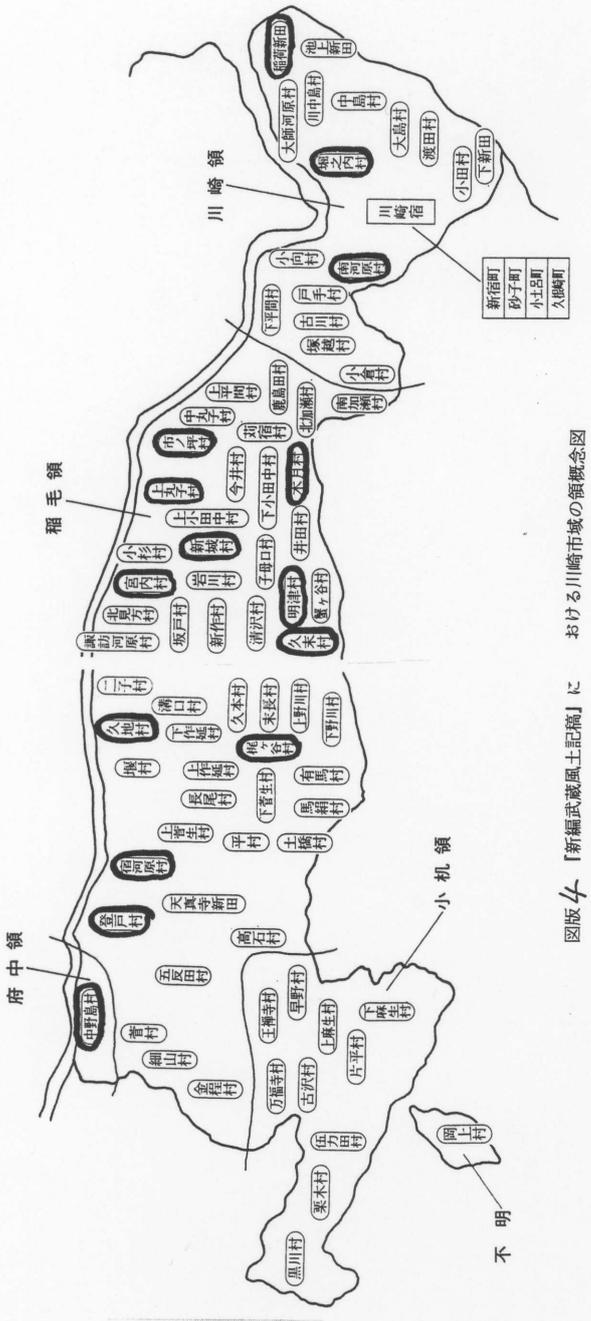
② この増加が平野の時代からなされた



図版 6 利根川・川崎二ヶ領用水路全図 (利根川・川崎二ヶ領用水事蹟より、一部改変)



図版 7 二ヶ領用水取水口付近の概略図



図版 4 『新編武蔵風土記稿』における川崎地域の領概念図

2 二ヶ領用水の建設

○ 当時の川崎地域 — 全江幕府直轄領の旗本領

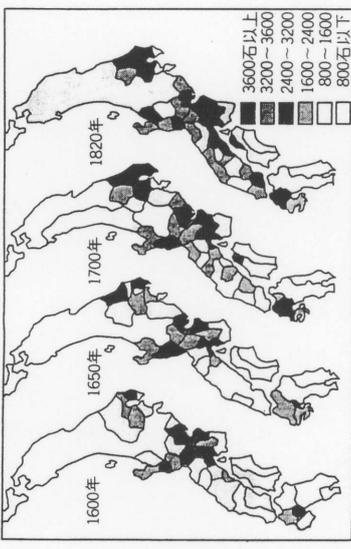
○ 徳川氏は 1590 年の関東入国以来、大規模の治水・灌漑工事をを行い、水田耕作の推進地域であった関東を先進地域に力を入れた。

○ 建設の過程

- ・ 1597 年(慶長 2) 2 月 河屋開始
- ・ 1598 年(" 3) 2 月 測量完了
- ・ 1599 年(" 4) 1 月 5 日 川崎領工事開始
- ・ 1602 年(" 7) " 完了
- ・ 1603 年(" 8) 稻毛領工事開始
- ・ 1609 年(" 14) 7 月 5 日 " 完了
- ・ 1609 年(" 14) 2 月 2 日 久水口、小堤用水工事開始
- ・ 1611 年(" 16) 2 月 1 日 " " 完了

全工事日数 3582 日 (六ヶ領用水; 1892 日, 二ヶ領用水; 1690 日)

図 5 (4) 反当収量の増加



村名	村高(石)	村名	村高(石)
稲荷新田	906,278	稲荷新田	1,587,583
大師河原村	604,636	大師河原村	734,040
川中島村	162,939	川中島村	219,404
大島村	477,002	大島村	591,220
中島村	242,104	中島村	247,968
渡田村	766,517	渡田村	797,971
小田村	672,473	小田村	750,691
下新田村	104,364	下新田村	122,142
堀之内村	274,702	堀之内村	341,730
川崎久根崎町	168,132	川崎久根崎町	199,733
川崎新宿町	304,726	川崎新宿町	373,665
川崎砂子町	415,802	川崎砂子町	436,744
川崎小土呂町	341,855	川崎小土呂町	307,057
南川原村	478,869	南川原村	644,537
戸出村	409,120	戸手村	409,120
小向村	173,447	小向村	175,283
下平間村	157,195	下平間村	157,195
古川村	79,338	古川村	79,338
塚越村	234,774	塚越村	234,774
小倉村	778,140	小倉村	778,707
鹿島田村	508,000	鹿島田村	508,000
南賀瀬村	656,000	南加瀬村	707,402
北賀瀬村	500,000	北加瀬村	340,927
上平間村	402,107	上平間村	432,221
中丸子村	372,793	中丸子村	382,765
市ノ坪村	200,000	市坪村	299,337
今井村	268,353	今井村	309,371
須宿村	200,000	須宿村	200,000
木月村	715,000	木月村	1,003,834
井田村	423,377	井田村	528,0687
下小田中村	708,476	下小田中村	747,2068
新城中村	200,000	新城中村	300,000
上小田中村	823,064	上小田中村	844,484
小杉村	610,437	小杉村	704,6351
上獅子村	603,464	上丸子村	753,6172
宮内村	443,322	宮内村	559,0723
明津村	55,850	明津村	72,964
蟹谷村	61,995	蟹谷村	66,353
久米村	229,800	久米村	375,88029
子母口村	379,63596	子母口村	422,93615
清沢村	393,250	清沢村	451,499
岩川村	164,085	岩川村	211,883
新作村	393,260	新作村	410,76372
末長村	508,107	末長村	585,15883
久本村	437,605	久本村	437,6506
坂戸村	292,885	坂戸村	331,181
北見方村	258,000	北見方村	289,1265
諏訪河原村	168,343	諏訪河原村	151,990
二子村	392,715	二子村	444,861
溝口村	754,547	溝口村	714,220
久地村	149,262	久地村	374,955
下作延村	448,077	下作延村	452,890
上作延村	248,351	上作延村	308,406
堀ヶ谷村	149,408	堀ヶ谷村	236,943
野川村上下	583,972	上野川村	487,450
下野川村	295,691	下野川村	266,242
有間村	452,184	有間村	295,691
馬絹村	452,184	馬絹村	495,822
土橋村	137,037	土橋村	137,037
下菅生村	333,944	下菅生村	333,944
平村	278,221	平村	278,221
長尾村	472,821	長尾村	531,685
堰村(見取場ノミ)	130,999	堰村	138,549
宿河原村	196,147	宿河原村	509,205

川崎市区村名・村高一覧

図8

村名	村高(石)	村名	村高(石)
登戸村	611,631	登戸村	718,554
登戸村	940,297	登戸村	1,227,295
菅村	1,227,295	菅村	805,105
上菅生村	795,058	上菅生村	1,174,305
登戸村新田	166,472	登戸村新田	718,554
五反田村	571,370	五反田村	588,567
菅生村新田	357,914	菅生村新田	37,083
金程村	70,786	金程村	70,786
細山村	190,042	細山村	200,187
高石村	110,015	高石村	100,000
王禰寺村	192,000	王禰寺村	222,000
早野村	220,530	早野村	255,500
下麻生村	300,000	下麻生村	298,600
上麻生村	550,000	上麻生村	506,000
古沢村	65,713	古沢村	70,264
伍力田村	39,860	伍力田村	39,865
栗木村	80,000	栗木村	81,336
黒川村	91,000	黒川村	260,702
中野島村	172,897	中野島村	243,452
岡上村	263,050	岡上村	323,143
合計	28,499,17585	合計	33,788,59043
内訳	435,947	内訳	566,595
多摩郡	1,876,367	多摩郡	2,100,120
橋本郡	26,186,86185	橋本郡	31,121,87543

【武蔵国園簿】【武蔵国元禄郷帳】【武蔵国天保郷帳】

○二ヶ所用水建設、結果は？

○1700年頃より大規模な新田開発実施2ヶ所。

○収穫高が大幅に向上



No. 3

3 街道の建設、商工業の発展

○ 東海道、裏街道

・ 中原往還

・ 文倉沢往還 } 江戸へ様々な商品を
はこぶ交通路

・ 登戸道

※ 水路にも直結

・ 登戸は宿河原 → 多摩川へ

・ 二子

江戸表へ

・ 八王子道……東海道へ、商品と日よぶ交通路

○ この地域の特産物

- 1) 江戸初期……塩(川崎産)
- 梨(〃)
- 柿(禪子柿)
- 黒川炭

2) 江戸中後期……和摩散造(中野島) → 中野島村 田村文平(玉川屋)

炭

酒造(しりゆ造り)(稲毛産)

ちうめん造り (相・開田産)

養蚕

しりゆ

満口村 上田安左衛門(稲毛屋)

酒

登戸村、安左衛門、満口村 安左衛門、清左衛門

長尾村、直次

長沢村、松五郎 化 五反田村、惣五郎

長尾村、太五衛 菅村の八兵衛

図10 三宿の工業戸数 (天保9年商人書上による)

業種	小杉	溝口	登戸
油絞	-	1	-
醬油造り	-	1	1
干菓子造り	-	1	11
こんにゃく造り	-	-	1
粉ひき	-	-	1
紺屋	-	1	1
下駄足駄造り	-	10	14
傘造り	-	3	-
紙すき	-	-	3
提灯造り	-	-	1
馬鞍造り	-	-	1
計	0	17	34

図11 三宿の宿関係商業戸数 (天保9年商人書上による)

業種	小杉	溝口	登戸
旅宿	1	6	4
居酒屋	3	4	12
煮売屋	-	2	7
棒屋	-	1	-
鮎商	-	1	3
髪結	1	2	4
湯屋	1	1	2
計	6	17	32

図12 三宿の日用品商業戸数 (天保9年商人書上による)

業種	小杉	溝口	登戸
穀物	2	1	4
肥料	3	-	-
太物	-	1	2
古物	-	-	2
青物	-	1	-
豆腐	-	2	1
薬物	1	1	-
荒物瀬戸物	5	4	4
鍋釜鉄びん	-	1	2
経師	-	1	-
木材	3	2	-
計	14	14	15

表43~45は、浅香幸雄「近世期における 脇住選宿場町の発達」(『東京教育大学地理学研究報告』2)より転載。



図9

川崎周辺の近世主要道路模式図